

事業概要

応募No.	3		
事業主体	川崎市	事業箇所	神奈川県川崎市高津区千年地先
応募者名	川崎市建設緑政局		
ふりがな 事業名称	としけいかくどうろ まるこなかやまちがさきせん(ありやまざかこうく) 都市計画道路 丸子中山茅ヶ崎線(蟻山坂工区)		
事業概要 (400字以内)	<p>・本事業は、川崎市中央部の東西を横断する市内延長約5.7kmの幹線道路である都市計画道路丸子中山茅ヶ崎線のうち、高津区千年地先に位置する延長約0.7kmの蟻山坂工区における道路拡幅事業である。本路線は、古くは武蔵国と相模国を結ぶ街道として鎌倉・室町時代に中原街道として成立し、徳川家康が最初に江戸に入国した際に利用したとされるなど、関東の交易を支える主要な街道として発展してきた。</p> <p>・本路線は、第1次緊急輸送道路であることから、現道拡幅に併せ電線共同溝を整備することにより、災害時の緊急車両などの通行確保など地域防災力の向上に寄与するとともに、歩道および自転車通行帯を設置することで、車両・自転車・歩行者の通行が分離され、通学児童の安全性の向上が図られたものである。</p> <p>・併せて、本路線には土砂災害防止法による土砂災害警戒区域に指定されている区間が存在していることから、法面防護(擁壁)による対策も実施したものである。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.7km	
	幅員(m)	15~16m	
	事業期間(和暦)	平成17年~令和2年	
	事業費(億円)	約28億円	
URL	https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000105849.html		

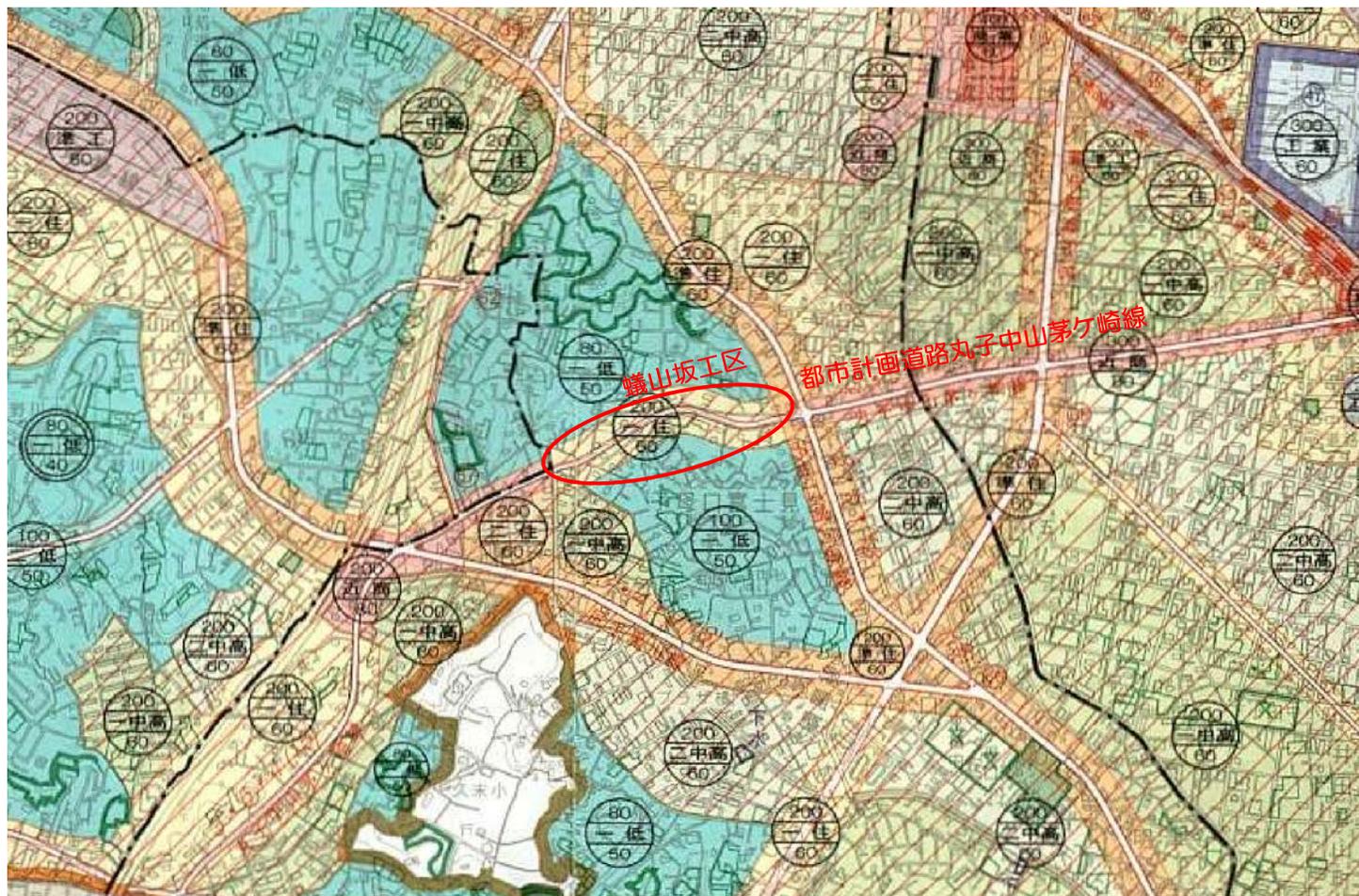
事業位置図



国土地理院地図

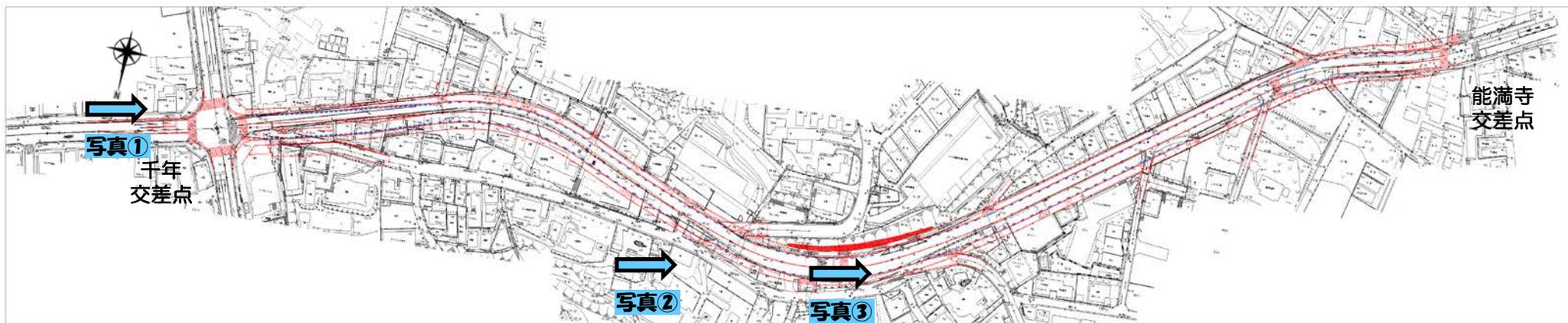
東急東横線

都市計画図(用途地域図)



川崎都市計画総括図

平面図



凡例

- 事業前
- 事業後(計画)

事業前写真

写真①
整備前



写真②
整備前

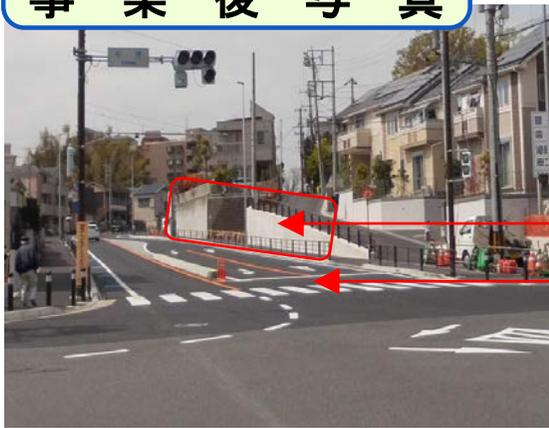


写真③
整備前



事業後写真

整備後



法面防護（擁壁）

右折レーン整備

整備後



法面防護（擁壁）

自転車通行帯・歩道 整備

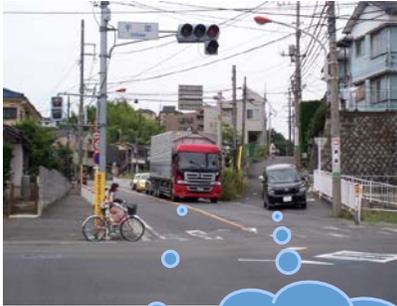
整備後



事業効果アピール資料

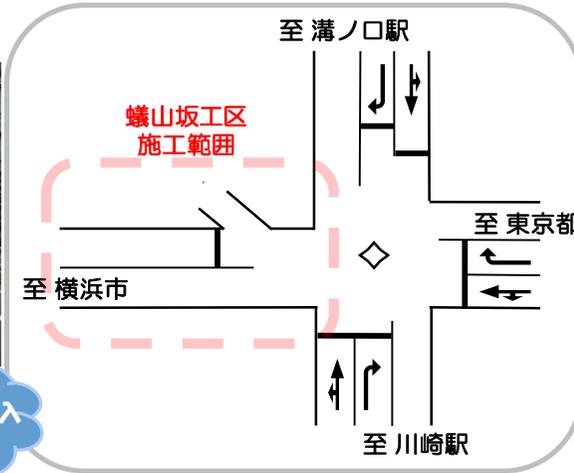
(1) 千年交差点の渋滞軽減

【整備前】

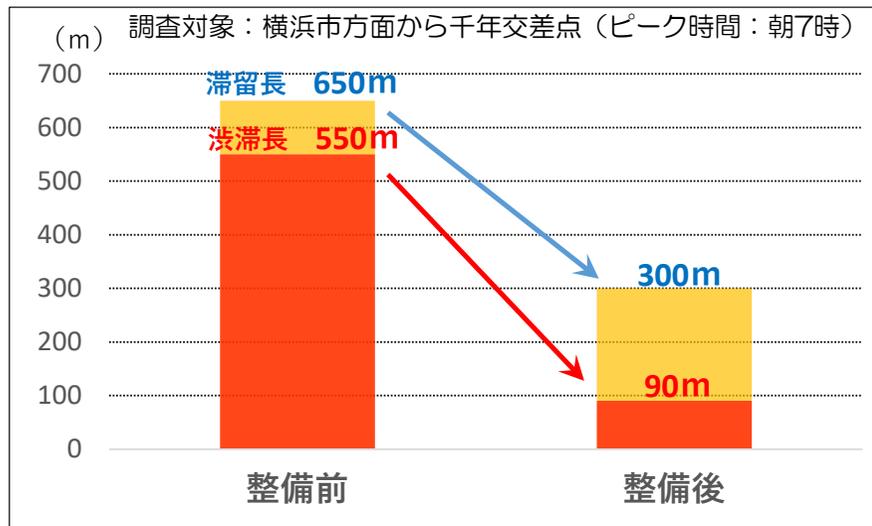
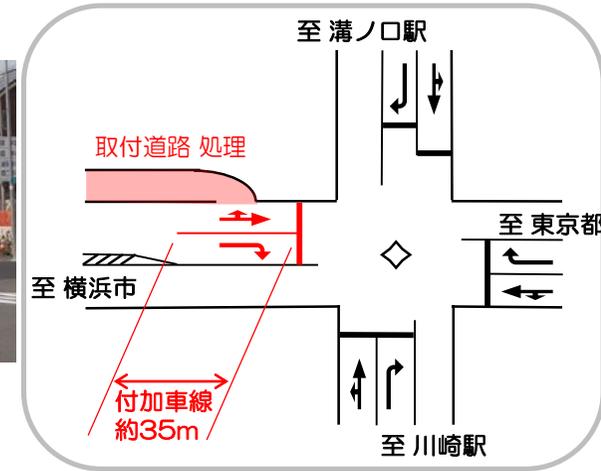


取付道路からの流入

右折待ち車両による滞留



【整備後】



- ✓ 取付道路の交差処理（一方通行化）
- ✓ 右折専用レーンの設置（延長L=約35m）
- ✓ 両側歩道の設置（幅員W=3m）

⇒交差点に起因する渋滞の軽減により、
輸送の速達性・定時性が向上し、地域の
経済活動に貢献

事業効果アピール資料

(2) 歩行者・自転車の安全性向上



自転車レーン1.5m 歩道3.0m

- ✓ 両側歩道の設置 (幅員W=3m)
- ✓ 横断防止柵などの安全対策
- ✓ 自転車専用通行帯の設置 (幅員W=1.5m)

⇒通学児童などの歩行者や、
自転車の通行性・安全性を向上

苦勞や工夫等アピール資料

蟻山坂工区は切通し形状となっているため、道路拡幅に際しては、地域の生活道路となっている取付道路との高低差の処理が課題となっていた。そこで、周辺取付道路にあわせて計画高を最大で約2.4m嵩上げする工法を採用した。施工は、バス路線である本線を供用しながらの段階的な盛土による嵩上げとし、嵩上げにより生じた40箇所におよぶ隣接宅地との高低差について、住民に対して丁寧な説明により理解を得ることで、無事に工事を完成することができた。

◆周辺の標高（地形）

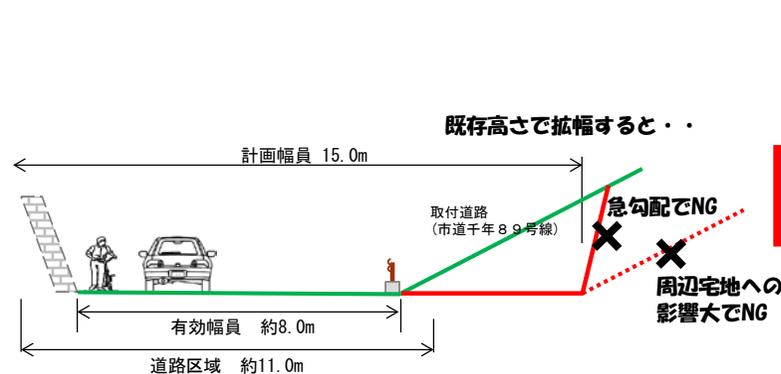


国土地理院地図

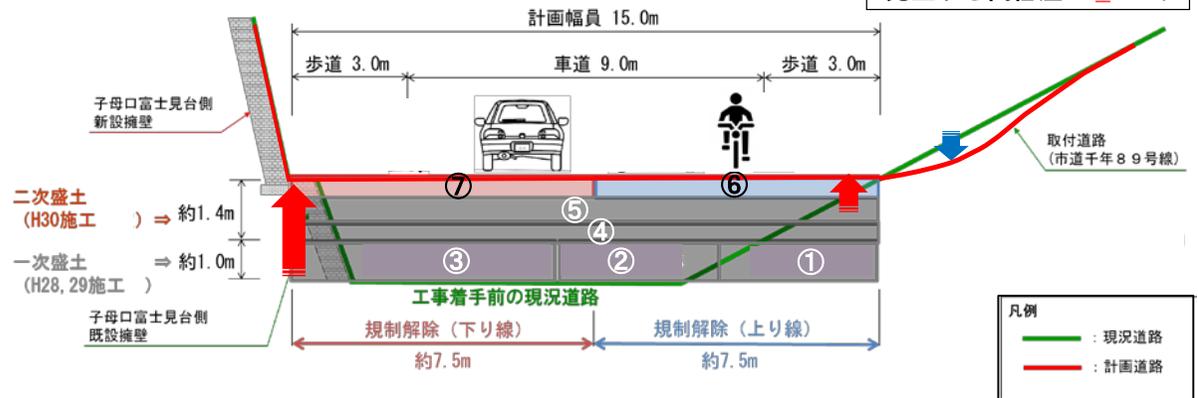
◆写真による比較



◆拡幅前



◆盛土施工イメージ(二次盛土完了時)



受賞歴・報道資料

新聞記事

TV報道

受賞歴 等

特になし